

集団移動

平成22年9月2日に市民から「窓ガラスに大量のセグロアシナガバチが集まっています。危険性や攻撃性は、ないのでしょいか。付近には巣がありません」との相談です。

「時期的に雄バチや新女王バチが羽化してくる季節です。羽化した雄バチや女王バチは、巣の周辺で過ごします。そして、10月にもなると雄バチは、死に絶え、女王バチは、越冬に入ります。ところが、時々、羽化した雄バチや女王バチが集団で巣を離れて、窓際や樹木に集まっている現象が8月の中旬以降に見られます。今回の事例も集団で巣から離脱したのでしょう。雄バチは、針を持たないので人を刺すことはありませんし、女王バチは、針を持ち、人を刺すことができますが、働きバチのように人を攻撃することはほとんどありません」と説明しました。

しかし、本当に羽化した雄バチや女王バチの集団なのか気になりました。そのことを確認するために市民の方に「京都市が行っているハチの駆除は、スズメバチの巣とミツバチの巣及び分封に限られています。今回は、セグロアシナガバチの調査の一環として、雄バチと女王バチの集団であるのかを確認のために採集に行きます」と答えて現場に急行しました。

十数匹のセグロアシナガバチが窓に集まっています。捕虫網をかぶせ、スプレー式の家庭用殺虫剤を噴霧することにしました。一網打尽としたかったのですが、4匹しか採集することができませんでした。予想のとおり、3匹の雄バチと女王バチと思われる雌バチ1匹でした。

ちなみに、採集したときには、殺虫剤を噴霧したせいもあるのですが、人を襲うような行動は見られませんでした。

集団で巣から出て行く理由

普通、セグロアシナガバチは、巣から集団で離れることはありませんが、こうした集団でセグロアシナガバチの雄バチと女王バチが越冬前に巣を離れる行動を過去にも幾度か観察しています。それほど珍しい現象ではないようです。

集団で巣を離れる行動の原因は、色々推測できます。台風等で巣が落下した、あるいは人が駆除のために巣を落とした、スズメバチ類の攻撃を受けたなどです。

特にスズメバチ類は、アシナガバチ類の最も有力な天敵の一つです。最強のオオスズメバチに襲われれば、巣の中の幼虫やサナギを根こそぎ略奪されてしまいます。ヒメスズメバチに至っては、専らアシナガバチ類の幼虫やサナギを餌にしています。スズメバチに襲われて、セグロアシナガバチの成虫も巣から離れざるを得なかったのかもしれない。また、交尾を終えた女王バチも越冬のために集団で巣を離れることがありますが、その集団には既に雄バチはいません。

雄と雌の違い

腹部の末端の生殖器付近の形状が異なります。何よりも、腹部の背面の模様は、雌雄で大きく異なります。この違いは、肉眼で容易に分かります。セグロアシナガバチの集団の中に雄を確認できれば、その集団は比較的安全であると思えます。



静止しているセグロアシナガバチ



過去に経験した樹木の集団



女王バチ



雄バチ



女王バチの腹部背面



雄バチの腹部背面